

交通事故からの復活！！そして生涯楽しむ

- 復活までに 18 ヶ月 -

トーラス 60 河西博康

それは、51歳の秋に起こりました。平成16年10月14日、400ccのバイクに乗って自宅前の交差点を青信号になったので直進、何が起こった？跳ねられた!!4tトラックが、40~50m先に止まっているのがアスファルト上に横たわっている私の目に入った。次に見たのは右足の爪先が、ありえない方向を向いていた。湘南鎌倉総合病院で緊急手術（右脛骨解放骨折）、洗浄、デブリドーマン、右脛骨ORIF、1回目の手術でした。3回の手術でデブリドーマンが終わり縫合。リハビリ通院となりました。床にフェイスタオルを敷きその端に足を乗せ、足指でタオルを手繰り寄せること。出来ない！指が動かず毎日の進歩がない、歯がゆさが辛さになり諦めが走った。通院時だけやっていました。今、思えば辛くても、諦めずに寸暇を惜しんでやっていたらもう少し足首も指も動いたかなと後悔しています。やっと骨が着き松葉杖もとれ、17年11月から入社。事故から13ヶ月経っていました。次は、ペガサスへの復帰だ、サッカーがやりたい。日曜日には、鵜沼海岸まで引地川沿いの約4kmを走りました。が、やりすぎました。右拇趾陥入爪で出血6回目の手術でした。反省です、痛かったら止める。焦ってはいけない！！続けること諦めない事。身体と相談しながら進める事でした。だが、無情にも18年2月「右足首機能喪失症状固定」と診断されショックを受けました。少しずつ走れるようになった事を良とし、受け入れていきました。

ペガサス復帰の日は、18年4月15日大神グランドだったと思います。この日から手帳にリーグ戦の予定が記されております。18ヶ月間、やりたいと願っていたサッカーをさせて頂きました。皆さんが暖かく見守って下さった事を強く感じました。“復活！！”です。ご心配をお掛けしました。お見舞いや、励ましを頂きありがとうございました。特に嬉しかったのは、平成18年8月27日ペガサス祭りのピッチ（東海大相模）に帰ってきた時です。懇親会で皆さんから励ましの拍手を頂いたこと、一生忘れません。

40歳の時、鵜洋アーセナル少年サッカーのコーチ仲間、黄瀬さん、角田さんから誘われてペガサスに参加致しました。そして今、傷害があっても生涯楽しむサッカーができます。皆さんに見守られています。湘南ペガサスに感謝しかありません。これからも宜しくお願い致します。 湘南ペガサスに乾杯！